DAINICHI

ブルーヒーター

FW-3680LD
FW-5580LD
FW-6080LD

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。

［強制通気形開放式石油ストーブ］

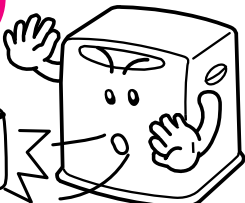
目次

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の3段階に区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています

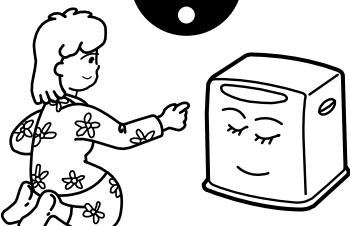
本文中のマークは、次の意味を表します。
（マークの中や周辺に具体的な内容が書かれています。）

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠危険(DANGER)

ガソリン厳禁

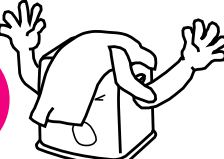
ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

ガソリン厳禁

⚠警告(WARNING)

スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

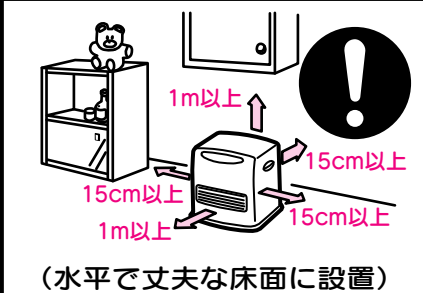
可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

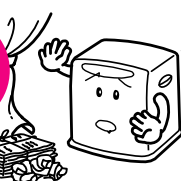
⚠警告(WARNING)

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口、燃焼・温風空気取入口をふさがないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

換気必要

換気せずに使用しつづけないでください。
酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
窓の凍結、地下室など換気が十分に行えない場所では使用しないでください。

1時間に1～2回（1～2分）換気

新鮮な空気

⚠注意(CAUTION)

1 設置

可燃物との距離を離す

図に示すファンヒーターの周囲には可燃物を置かないでください。
火災の原因になります。

（水平で丈夫な床面に設置）

カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

人があたたまる目的以外使用禁止

衣類の乾燥や、動・植物の育成・栽培、人のいない場所では使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

- ○カーテンなど可燃物のそば
- ○振動の激しい場所
- ○水平でない場所、不安定な場所
- ○不安定な物をのせた棚などの下
- ○風のあたる場所、部屋の出入口、屋外
- ○人のいない場所（温室、飼育室など）
- ○可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所

→ 火災の原因になります。

- ○窓の凍結などのため、換気が十分に行えない場所
- ○暖炉や押し入れなど、ファンヒーターが囲われる場所
- ○ほこり、湿気、金属粉の多い場所
- ○標高1,000m以上の高地

→ 不完全燃焼の原因になります。

- ○直射日光のあたる場所
- ○理・美容院、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所

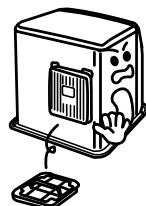
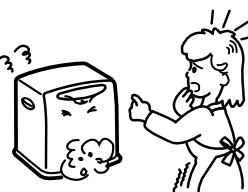
→ 故障や予想しない事故が発生する原因になります。

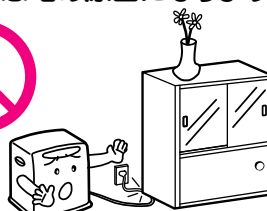
安全のために必ずお守りください

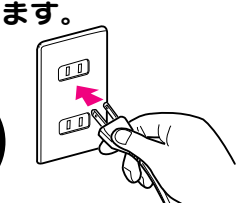
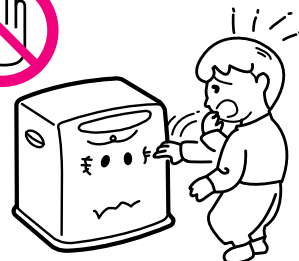
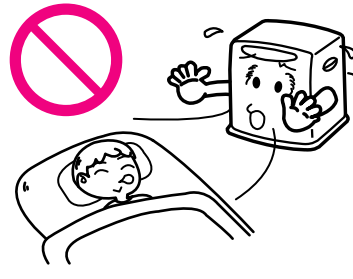
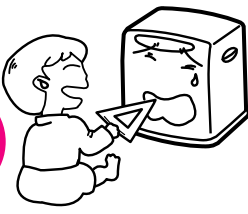
⚠注意(CAUTION)

2 使用時

移動に注意
ファンヒーターを移動するときは、火を消してカートリッジタンクを取り出し、傾けないように静かに運んでください。
灯油がこぼれると火災の原因になります。

ファンフィルターは必ず使用
ファンフィルターを取り外した状態では使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。

異常時使用禁止
におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

シリコーン配合製品を使用しない
ファンヒーターを使用している部屋や隣接する部屋ではシリコーン配合製品(ムース・クリーム・液体スプレーなどの枝毛用ヘアートリートメント類、つや出し剤や防水スプレーなど)を使用しないでください。
異常燃焼のおそれや着火ミス、途中消火、換気ランプ点滅の原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。感電の原因になります。

小さいお子さまに特にご注意いただきたいこと

高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は温風吹出口に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

温風に直接あたらない
温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

本体内に指や異物を入れない
温風吹出口や燃焼・温風空気取入口に指や可燃物・針金などの異物を入れないでください。けがややけどを負ったり、火災・感電の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

3 給油時

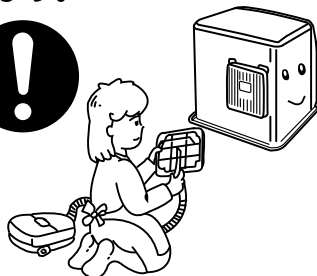
油漏れ確認
口金は確実に閉めてください。口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。
口金を斜めに閉めたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。

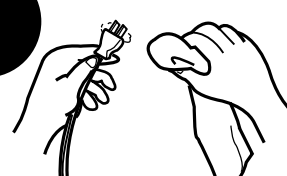
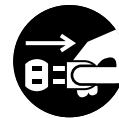
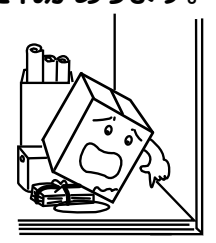
給油時消火
給油は必ず消火してから行ってください。
火災のおそれがあります。

居室内給油禁止
給油は必ず火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。

変質灯油禁止
変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(汚れた灯油、水の混じっている灯油など)を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

4 点検・手入れ・保管・廃棄

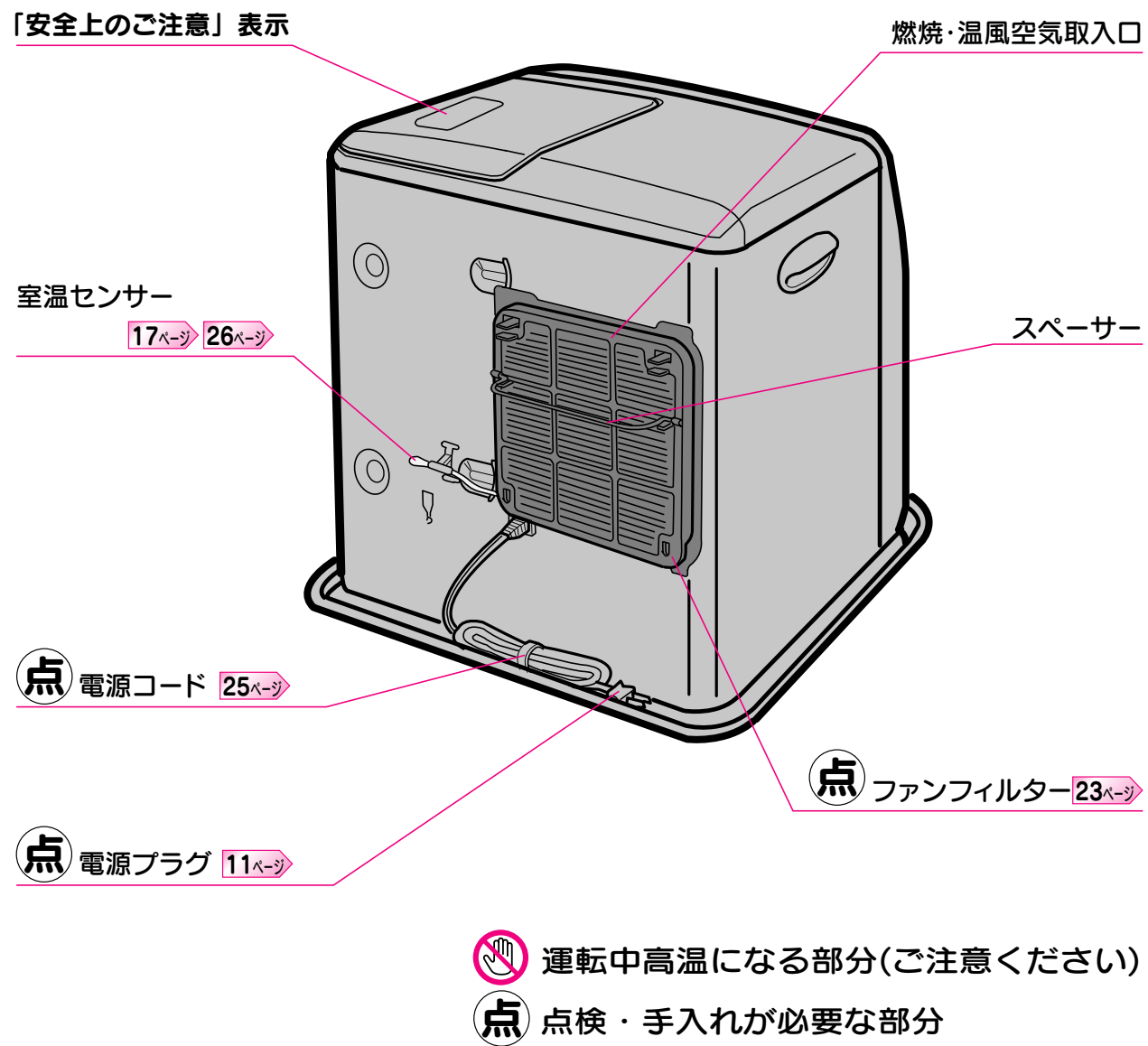
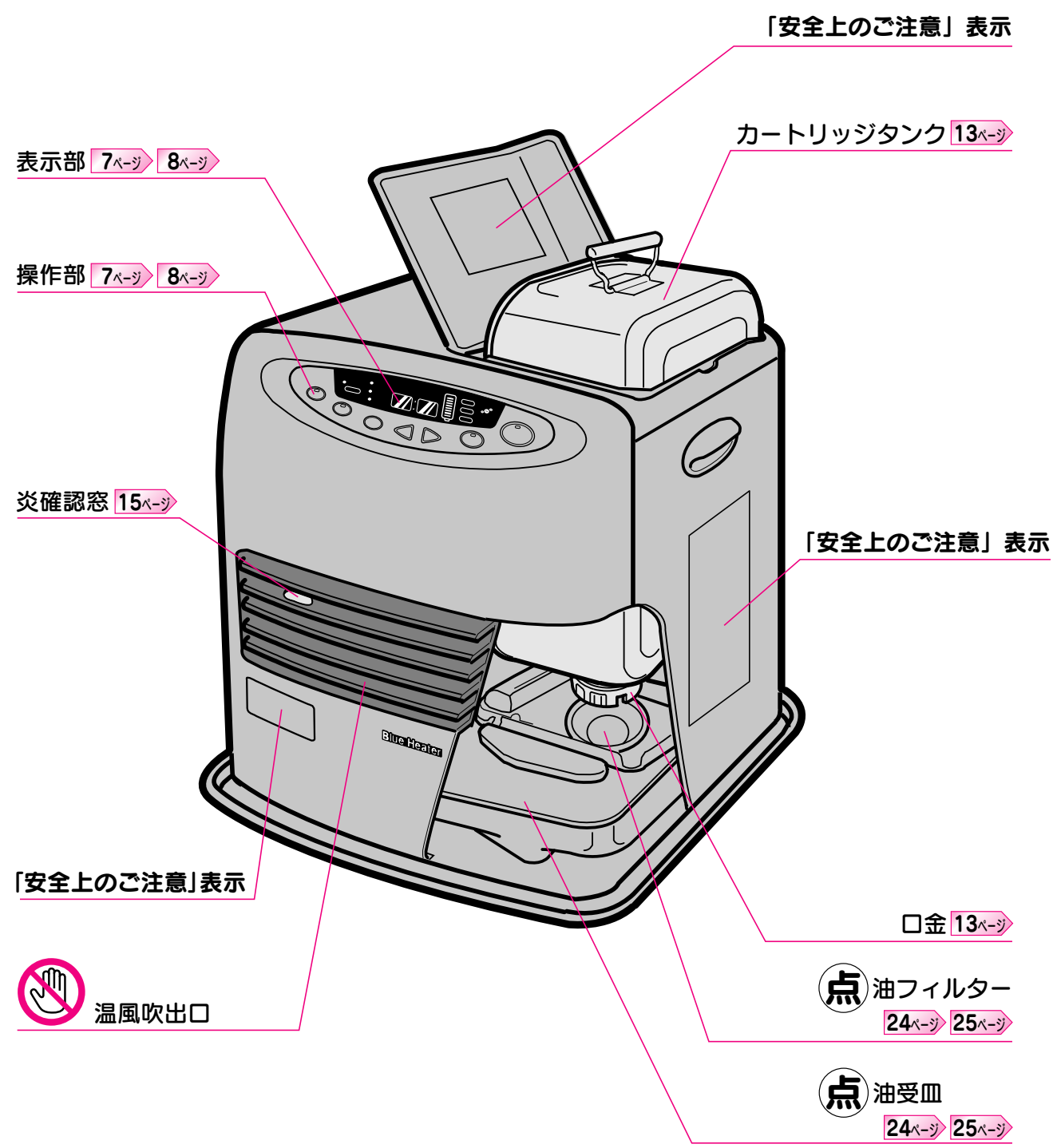
ほこりの除去
ファンフィルターは週に1回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止
故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

電源プラグのお手入れをする
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

保管時にしていただくこと
長期間使用しないときや、保管するときは、必ずカートリッジタンク、油受皿の灯油を抜き、傾けたり横倒しにしないでください。
火災のおそれがあります。

廃棄するとき
ファンヒーターを廃棄するときは、必ずカートリッジタンク、油受皿内の灯油を抜き取ってください。25ページ
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。

各部のなまえ

外観図

運転中高温になる部分(ご注意ください)

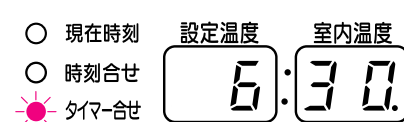
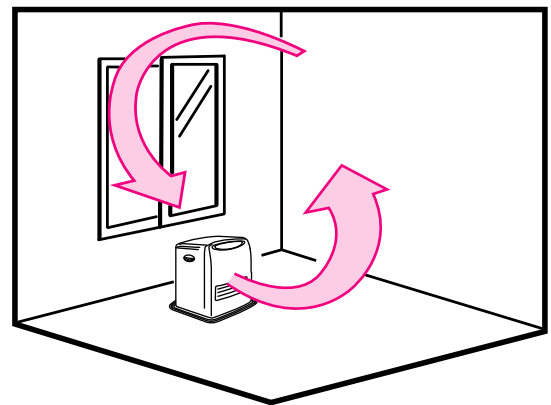
点 点検・手入れが必要な部分

お守りください

○スペーサーは水平に倒してお使いください。

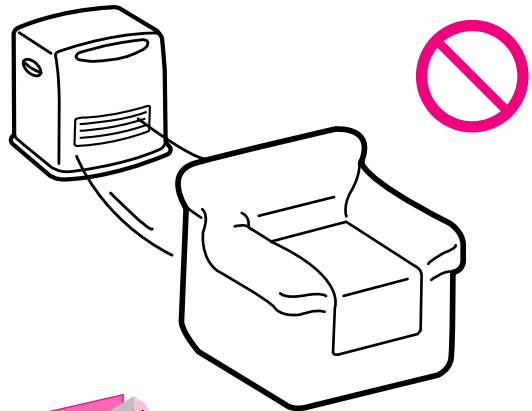
カーテンなどで燃焼・温風空気取入口がふさがれるのを防ぎます。

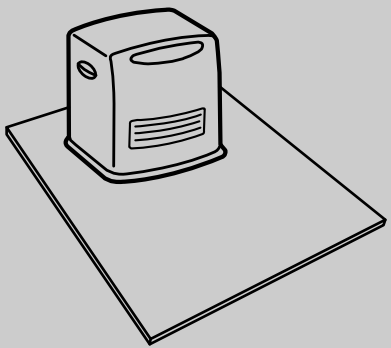
各部のなまえ

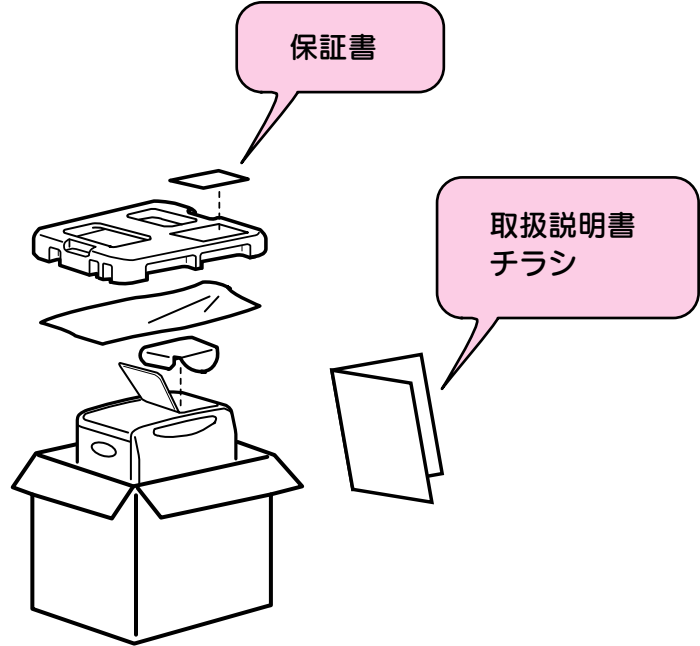
操 作 部
※図は説明のため全部点灯した状態です。
使用上、全部点灯することはありません。
現在時刻ランプ（緑） 20ページ
時刻合せランプ（緑） 20ページ
タイマー合せランプ（緑） 21ページ
設定温度表示 15ページ 17ページ
エラー表示 27ページ
室内温度表示 15ページ 17ページ
時刻表示 20ページ
バーグラフ油量計 14ページ
フィルターランプ（赤） 27ページ
換気ランプ（赤） 27ページ
給油ランプ（赤） 14ページ
マイナスイオンランプ（青） 15ページ
運転ランプ（赤） 15ページ 16ページ 22ページ
消臭消火ランプ（赤） 16ページ
運転 入／切 スイッチ 15ページ 16ページ 22ページ
チャイルドロックランプ（緑） 18ページ
チャイルドロックボタン 18ページ
ひかえめランプ（緑） 17ページ
ひかえめボタン 17ページ
チャイルドロック
3秒押し
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
設定温度
室内温度
油量
フィルター
換気
給油
マイナスイオン
点滅：消臭消火
運転
入/切
ひかえめ
タイマー
表示切換
温度／時刻調節
運転延長
タイマーランプ（緑） 22ページ
タイマーボタン 22ページ
表示切換ボタン 20ページ 21ページ
運転延長ランプ（赤） 19ページ
運転延長ボタン 19ページ
温度/時刻調節ボタン 17ページ 20ページ 21ページ
メロディーと電子音の切り換え方
「給油の合図」と「燃焼残り時間のお知らせ」はメロディーでお知らせします。
（「給油の合図」と「燃焼残り時間のお知らせ」ではメロディーが異なります。）
○運転中に、運転延長ボタンを約５秒間押すと、メロディーから電子音に切り換わります。
ピッポッピッポッピッポッ
○再度,運転中に、運転延長ボタンを約５秒間押すと、電子音からメロディーに切り換わります。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、メロディーになります。
表 示 部
表示部は表示切換ボタンを１回押すごとに、1 ～ 4 の順で切り換わります。
1 現在時刻表示 20ページ
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
設定温度
室内温度
20:30.
※現在時刻を合わせていないときは
--:-- になります。
2 時刻合せ表示 20ページ
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
設定温度
室内温度
20:30.
3 タイマー合せ表示 21ページ 22ページ
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
設定温度
室内温度
6:30.
（運転中）
4 温度表示 17ページ
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
設定温度
室内温度
22:15
（運転停止中）
4 運転停止中表示 16ページ
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
設定温度
室内温度

使用する場所

効果的に使用するために

○外気に接する窓の下や壁側に設置する。

○温風の循環を妨げない。

メモ

○熱に弱い材質の床面(カーペット、木質床、畳など)で長時間使用すると、変色、ひび割れ、そり返りなどが発生することがあります。
また、ほこりやたばこの煙などで変色することもあります。保護のため、マットなどを敷いて使用してください。

使用前の準備

ファンヒーターの取り出し

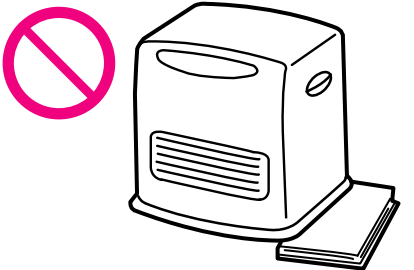
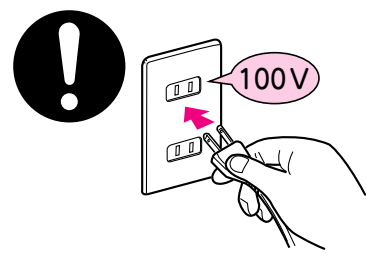
1 梱包材等を取りのぞき、ファンヒーターを取り出す

お守りください

○梱包材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

ファンヒーターが傾いた状態では使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

2 電源プラグをコンセント（100V）に差し込む

お守りください

○200V電源には絶対に差し込まないでください。火災、感電、故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。

燃　料

燃料は必ず灯油（ＪＩＳ１号灯油）を使用してください。

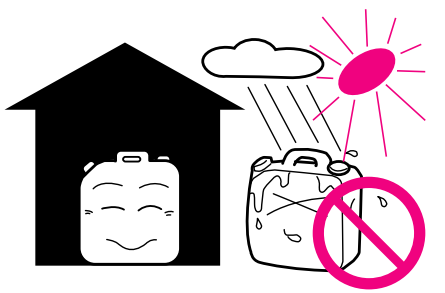
ガソリン、変質灯油、不純灯油（汚れた灯油、水の混入した灯油など）は、絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。

灯油とガソリンの見分け方

指先につけて、息を吹きかけてください。
（火の気のないところで）

灯油の場合	ガソリンの場合
○	×
濡れたまま	すぐ乾く

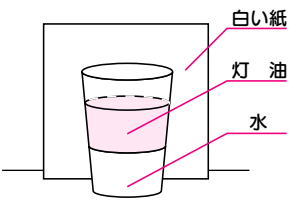
■正しい灯油の保管方法

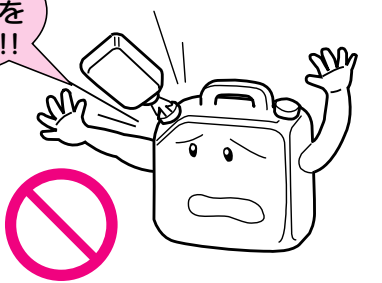
○火気、雨水、ごみ、高温、直射日光を避けた場所に保管する。
○容器のフタをしっかり閉める。
○容器は必ず灯油専用のものを使用する。
（乳白色の容器で保管した灯油は変質しやすくなります。）

変質灯油・不純灯油とは

■変質灯油

○昨シーズンより持ち越したもの。
○高温の場所で長期間保管したもの。
○日光のあたる場所で長期間保管したもの。
○乳白色のポリ容器で保管していたもの。
○容器のフタが開けてあったもの。

変質灯油の見分け方

水より少しでも色がついていたり、すっぱいにおいのするものは変質灯油です。

■不純灯油

○灯油以外の油（ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、軽油、灯油添加剤など）がほんの少しでも混入したもの。
○水やごみがわずかでも混入したもの。
○灯油水抜剤や助燃剤を添加したもの。

変質灯油や不純灯油を使用したときの症状

○においが強くなる。
○黄色い炎が混じる。15ページ
○火力が上がらない。
○消火しにくい。
○着火しにくい。

万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置方法

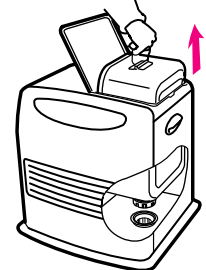
○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内を洗ってからご使用ください。24ページ 25ページ
○着火·消火を5回程度繰り返してください。
（少しにおいがしますので、換気を十分に行ってください。）
○それでも直らないときは修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。29ページ

メモ

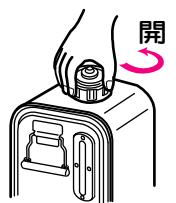
○変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

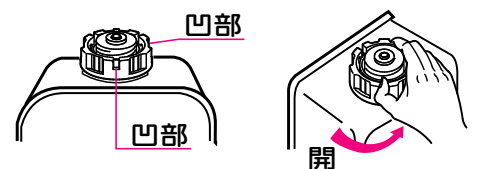
使用前の準備

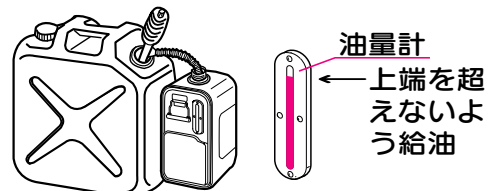
給油のしかた

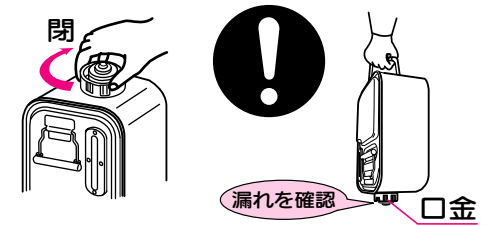
1 カートリッジタンクを取り出す

○カートリッジタンクを持ち運ぶときは上下2つあるとってを利用すると、持ちやすくなります。

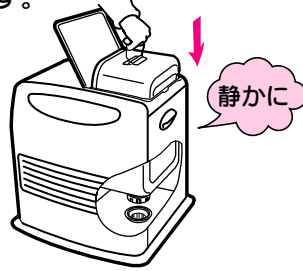
2 口金を外す

○外した口金にゴミ、糸くず、ホコリなど付着しないように注意してください。
○口金の外側を持って回すと手が汚れにくく、口金が外しやすくなります。

口金が外しにくいとき

○下図のように、口金外側の凹部に指をひっかけて矢印の方向に回すと、簡単に口金が外せます。

3 給油する

○灯油をこぼさないように注意し、油量計の上端を超えないよう給油します。

4 口金を確実に閉める

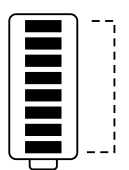
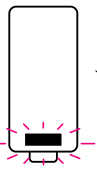
○こぼれた灯油は完全に拭き取ってください。
○口金を下にしても油漏れがないことを確認してください。

5 カートリッジタンクをセットする

○**バーグラフ油量計のバーが点灯します。**
○カートリッジタンクをセットした後、ファンヒーターを運んだり、ゆすったりすると、口金の外側が灯油でぬれる場合があります。

○**4ページ『安全のために必ずお守りください』の「3 給油時」をよく読み、注意してください。**
○**給油時、口金をぶつけないよう、取り扱いに注意してください。口金が変形すると油漏れのおそれがあります。**
○**カートリッジタンクは静かに入れてください。落とすように強く入れると、バーグラフ油量計の精度が悪くなるおそれがあります。**

給油の合図

便利な機能

■バーグラフ油量計

○灯油の残量表示

8段階のバーグラフで灯油の残量を確認できます。

○給油の合図

残り約1時間の燃焼が行えないときに次の操作を行うと、バーグラフが点滅すると同時に電子音が鳴って、灯油が残り少ないことをお知らせします。

○運転を開始するため**運転 入/切スイッチ**を押したとき
○運転中に**運転延長ボタン**を押したとき
○タイマー運転をセットしたとき

■給油2段階サイン

○給油の合図を2回に分けて**メロディー**と**給油ランプ**の点滅でお知らせしますので、手が離せないときもあせらず給油が行えます。
(メロディーお知らせを解除するには・・・・ 8ページ)

1回目のお知らせ

○カートリッジタンクの灯油がなくなると、**給油ランプ**がゆっくりと点滅し、**メロディー**が鳴ります。

約25分～60分 (FW-3680LD)
約15分～35分 (FW-5580LD / FW-6080LD)

2回目のお知らせ

○油受皿の灯油が残り少なくなると、**給油ランプ**の点滅が速くなり、**メロディー**が鳴って火力が小さくなります。

(2回目は速い**メロディー**でお知らせします。)

(設定温度が Hi のときは、大火力で燃焼します。)

約60分～80分 (FW-3680LD)
約30分～40分 (FW-5580LD / FW-6080LD)

(設定温度が Hi のときは、1回目のお知らせから 約30分 (FW-3680LD) 約20分 (FW-5580LD / FW-6080LD))

○そのまま使用しつづけると、油受皿の灯油がなくなり、"E 03"を表示して自動消火します。

(使用状況などにより2回目のお知らせと同時に消火することがあります。)

※燃焼時間は火力によって異なります。

自動消火したとき

○給油を行い、**運転 入/切スイッチ**を押すと、運転を開始します。

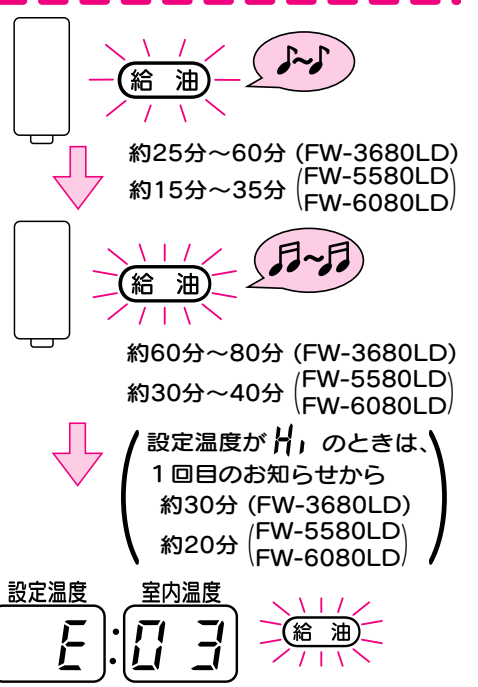
○給油2段階サイン中に電源プラグを抜いたり停電したときは、次回運転時は2回目のお知らせからとなります。また、燃焼時間は前回の使用状況により異なります。

運転開始

マイナスイオンランプ

チャイルドロック 3秒押し　現在時刻　時刻合せ　タイマー合せ　設定温度　室内温度　油量　フィルター　換気　給油　マイナスイオン　点滅：消臭消火

ひかえめ　タイマー　表示切換　温度／時刻調節　運転延長　運転 入/切

消臭消火ランプ
運転ランプ
運転 入/切スイッチ

運転を開始するとき

運転 入/切スイッチを押し、運転を開始します。

運転停止中に

を押す

設定温度　室内温度

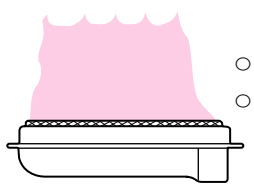
22:15

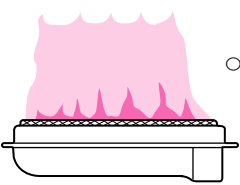
○ **運転ランプ**が点灯します。
○ **設定温度と室内温度**を表示します。
・室内温度は、1℃から表示し、0℃以下のときはLoを表示します。

約40秒後に着火します。
（FW-5580LD,FW-6080LDは約45秒）

着火後、**マイナスイオンランプ**が点灯し、温風吹出口よりマイナスイオンが放出されます。

炎確認窓から炎の状態を確認する

○正常燃焼

○青い炎で燃焼する
○バーナの網が赤くなっていても異常ではありません

×異常燃焼

○青い炎の中に常に黄色い炎が現れる

処置を行ってください。28ページ

メモ

○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、煙やにおいが出ることがあります。しばらくの間、部屋の換気をしながらご使用ください。
１時間ほどでおさまります。
○マイナスイオンの単独運転はできません。燃焼中のみ、温風吹出口より放出します。

運転停止

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押し、運転を停止します。

運転中に

を押す

○表示部が消灯します。
○約６秒間、**消臭消火ランプ（赤）**が点滅します。

約６秒後に消火します。

必ず火が消えたことを確認してください。

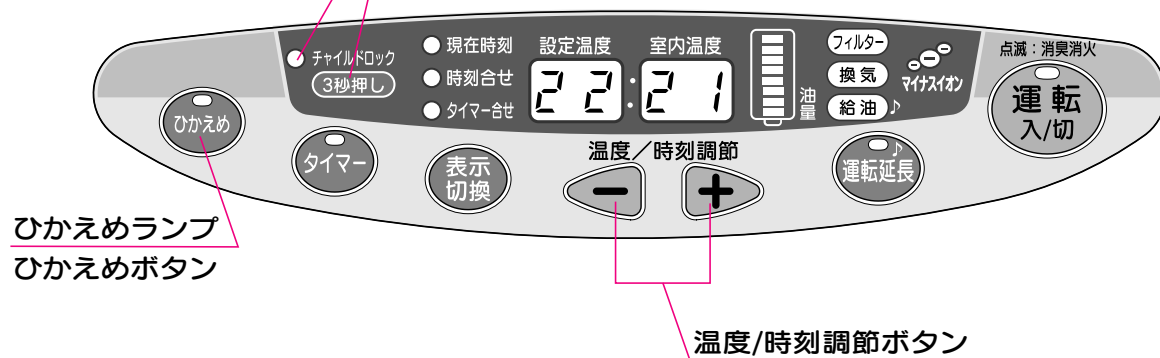
消臭機能

○消火時に発生するにおいの原因となる未燃ガスの発生を抑える機能です。
運転 入/切スイッチを押すと、約６秒間、未燃ガスを燃焼させてから消火します。
このとき**消臭消火ランプ（赤）**が点滅し、消臭機能が動作していることをお知らせします。

○**運転 入/切スイッチ**を押してから、約６秒後に「**カタン**」という電磁弁が閉じる音がしますが、異常ではありません。
また、異常停止や短時間での運転では消臭機能は動作しません。

お守りください

○**消火は必ず運転 入/切スイッチで行い、運転停止後３分間は、本体内を冷やすため、ファンが回っていますので、電源プラグを抜かないでください。**
電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

室温の調節

設定温度を上げるとき・下げるとき

温度/時刻調節ボタンを押し、設定温度を調節します。

○**室内温度**をめやすに**設定温度**を調節してください。
○設定温度は12～30℃の範囲と、Lo(常に小火力)、Hi(常に大火力)に調節できます。
○現在時刻表示にしているときは、**表示切換ボタン**を押し温度表示にしてから調節してください。

設定温度を上げるときは…

運転中に

を押す

ポピッ

1回押すごとに1℃ずつ上がります。

設定温度を下げるときは…

運転中に

を押す

ピポッ

1回押すごとに1℃ずつ下がります。

ひかえめ運転

○ファンヒーターがお部屋の暖まり具合を自動的に判断し、身体に感じる温度を変えることなく、暖かさを保つよう燃焼量を抑え運転します。

ひかえめ運転にするときは…

運転中に

を押す

○**ひかえめランプ**が点灯します。

ひかえめ運転を解除するときは…

ひかえめ運転中に

を押す

○**ひかえめランプ**が消灯します。

メモ

○狭い部屋や断熱のよい部屋でご使用のとき、あるいは秋口や春先など外気温が比較的高いときに室内温度が設定温度より上がることがあります。あついと感じたときは運転を停止してください。
○室内温度の表示は、室内平均温度のめやすです。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。

チャイルドロックの使い方

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。

チャイルドロックボタンを押し、セットします。
運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

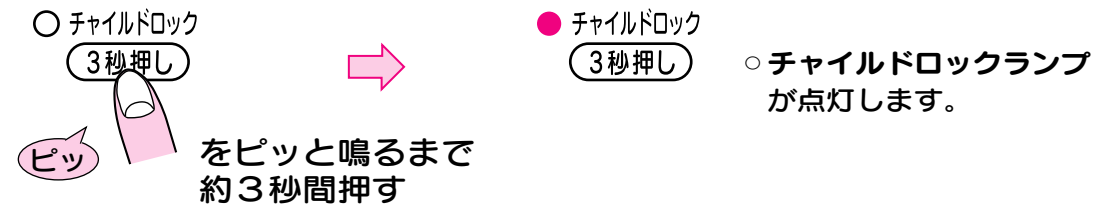
をピッと鳴るまで
約3秒間押す

チャイルドロック
3秒押し

○**チャイルドロックランプ**が点灯します。

運転中は…

運転を停止できる

を押す

○再度、運転を開始する場合は、チャイルドロックを解除してください。

運転を延長できる

を押す

運転停止中は…

○チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります。

メモ

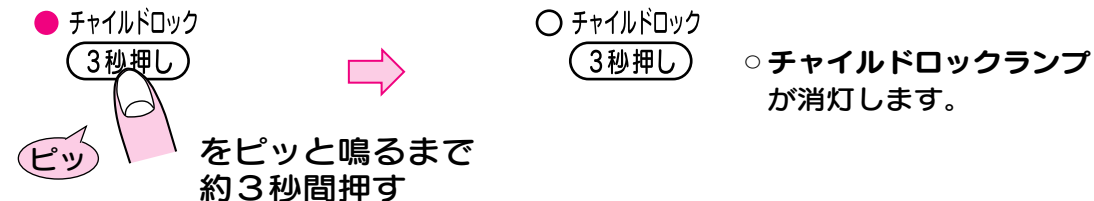
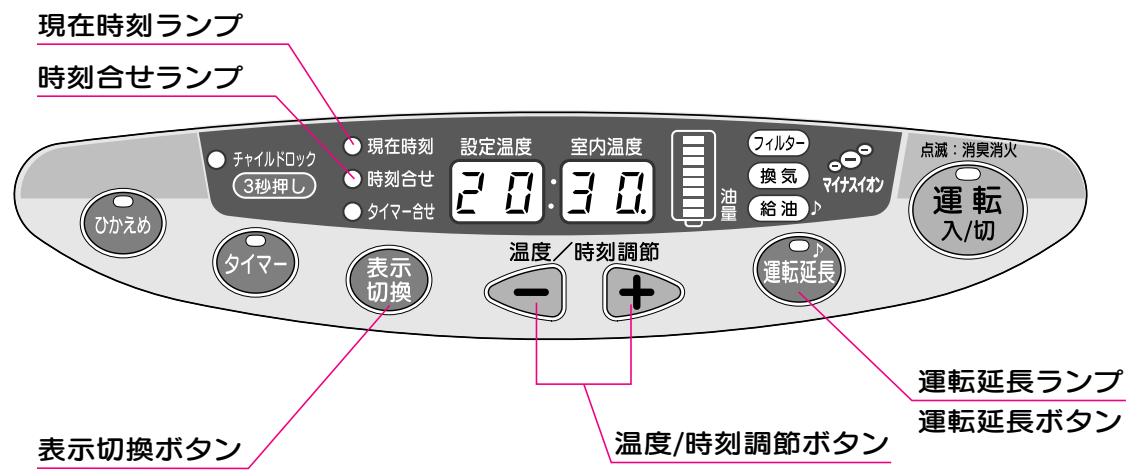
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットし直してください。

チャイルドロックを解除する

チャイルドロックボタンを押し、解除します。
運転中、運転停止中のどちらでも解除できます。

をピッと鳴るまで
約3秒間押す

チャイルドロック
3秒押し

○**チャイルドロックランプ**が消灯します。

消し忘れ消火装置と運転延長

消し忘れ消火装置と運転延長

消し忘れによる万一の事故を防ぐため、運転開始後約3時間で自動消火します。

燃焼残り時間のお知らせ

約3時間で自動消火する前に、**運転延長ランプとメロディー**でお知らせします。

（メロディーお知らせを解除するには・・・・ 8ページ ）

自動消火10分前

運転延長ランプ点滅
メロディーが鳴る

自動消火５分前

運転延長ランプ点滅
メロディーが鳴る

自動消火
（運転開始から約3時間経過）

運転延長ランプ点灯
メロディーが鳴り、自動消火

自動消火せずに運転を継続したいときは…

運転中に

を押す

○**運転延長ボタン**は燃焼残り時間のお知らせを行ったときに限らず、**運転延長ボタン**を押したときから、さらに約３時間運転を継続します。

お守りください

○**寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転 入/切スイッチで消火してください。**
予想しない事故が発生するおそれがあります。

現在時刻の合わせ方

タイマー運転を使用するときは、現在時刻を合わせてください。

現在時刻合わせは、運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

現在時刻を午後８時30分に合わせるとき

1 **時刻合せ表示にする** 7ページ 8ページ

を押す

○**時刻合せランプと時計表示**が点滅します。

2 現在時刻を合わせる

を押す

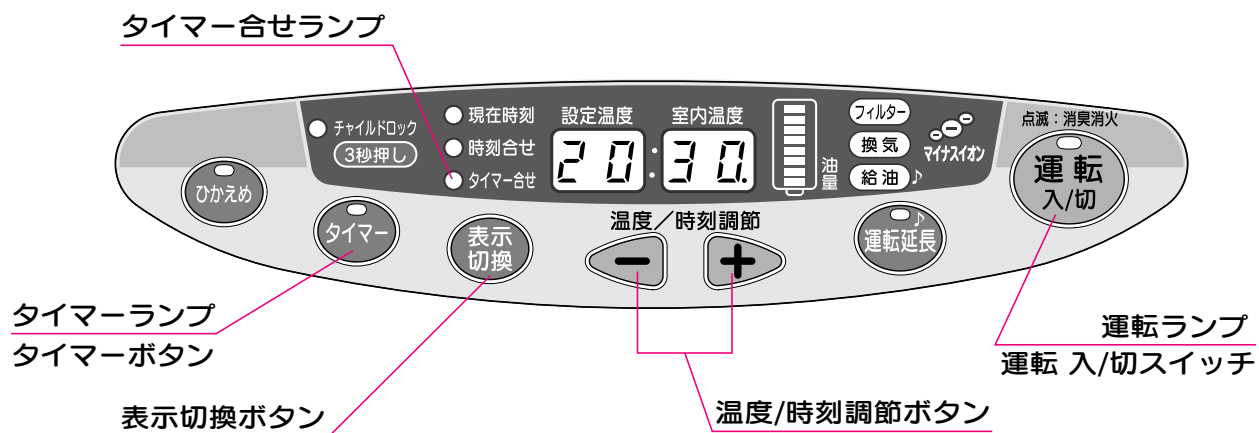
○時計は 0:00 から 23:59 を表示します。

＋を押すと１分進み、－を押すと１分戻ります。
－または＋をしばらく押しつづけると10分単位で早送りができます。

3 現在時刻表示にする

を押す

○**現在時刻表示**になるまで、**表示切換ボタン**を押してください。

タイマー運転の使い方

タイマー運転開始時刻をセットする

タイマー運転を使用するときは、タイマー運転開始時刻を合わせてください。

現在時刻合わせ、タイマー運転開始時刻合わせは、運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

タイマー運転開始時刻を午前６時30分にするとき

1 現在時刻が合わせてあることを確認する

を押す

○現在時刻を合わせないとタイマー運転はできません。
○現在時刻の合わせ方は、20ページを参照してください。

2 タイマー合せ表示にする 7ページ 8ページ

を押す

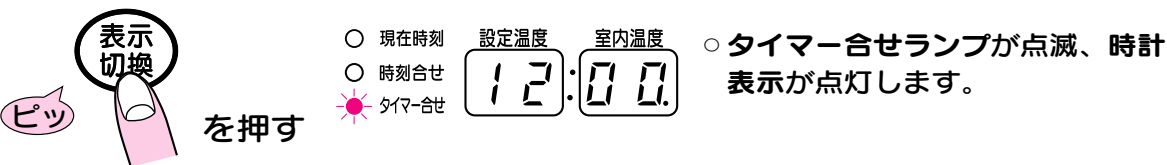
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ

○**タイマー合せランプ**が点滅、**時計表示**が点灯します。

3 タイマー運転開始時刻を合わせる

を押す

現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
設定温度
室内温度
6:30

○時計は 0:00 から 23:59 を表示します。

[+]を押すと１分進み、[−]を押すと１分戻ります。
[−]または[+]をしばらく押しつづけると10分単位で早送りができます。

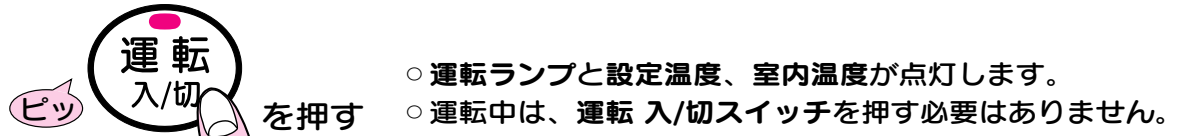
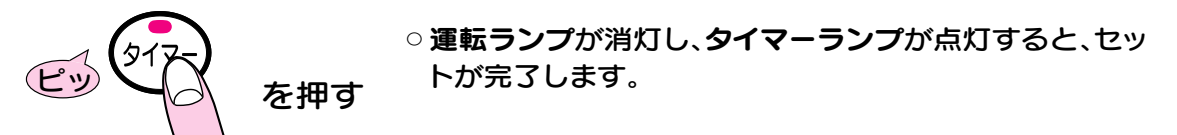
4 運転状態にする

を押す

○**運転ランプ**と**設定温度、室内温度**が点灯します。
○運転中は、**運転 入/切スイッチ**を押す必要はありません。

5 タイマー運転待機中にする

を押す

○**運転ランプ**が消灯し、**タイマーランプ**が点灯すると、セットが完了します。

○タイマー運転のセットをしてから**運転 入/切スイッチ**を押すと、タイマー運転が解除されますので、ご注意ください。

○１度タイマー運転時刻を合わせると、次回からは **4** 、**5** を行うだけで同じ時刻に運転が開始できます。

セットした時刻になるとタイマー運転開始

セットした時刻になると自動的にタイマー運転を開始し、安全のため、約1時間で自動消火します。約1時間で自動消火する前に**タイマーランプ**と**メロディー**でお知らせします。（メロディーお知らせを解除するには・・・・ 8ページ）

自動消火10分前	自動消火５分前	自動消火（タイマー運転開始から約1時間経過）
タイマーランプ点滅 **メロディーが鳴る**	タイマーランプ点滅 **メロディーが鳴る**	タイマーランプ点滅 **メロディーが鳴り、自動消火**

自動消火せずに運転を継続したいときは、**タイマーボタン**を押し、タイマー運転を解除してください。

タイマー運転を解除する

タイマー運転待機中

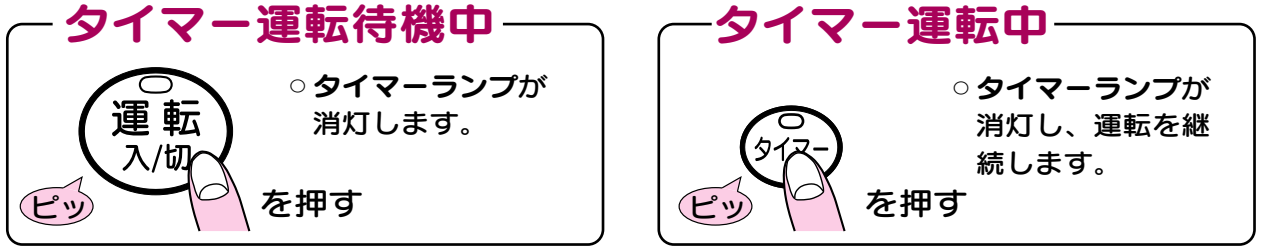
を押す

○**タイマーランプ**が消灯します。

タイマー運転中

を押す

○**タイマーランプ**が消灯し、運転を継続します。

メモ

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、再度、現在時刻を合わせ、タイマー運転開始時刻をセットし直してください。
○地震があったときは、もう１度 **4** からセットし直してください。

日常の点検・手入れのしかた

お守りください

○点検・手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグを抜き、点検・手入れを行ってください。火災ややけどのおそれがあります。

ご使用のたびに

本体の周辺に可燃物はないか

油漏れ、油のたまり、油のにじみはないか

異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体のごみやほこりを拭き取る

柔らかい布でから拭きするか、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いてください。
本体をベンジン・シンナーなどで拭かないでください。

週に1回以上は

ファンフィルターのほこりを取る

ファンフィルターの外し方

上のツマミを押し、手前に持ち上げる

ファンフィルターの取り付け方

下のツメをはめてから上部を押す

お守りください

○ファンフィルターをファンカバーに取り付けたまま、掃除機などで強くこするようにすると、ファンフィルターが破損することがあります。必ずファンカバーからファンフィルターを取り外し、強い力をかけないようにお手入れしてください。

1ヶ月に1回以上は

対震自動消火装置の点検

燃焼中にゆすると消火するか確認してください。
消火しない場合は修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

1ヶ月に1回以上は

油受皿内の点検をする

カートリッジタンクに直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露によりカートリッジタンク内に水がたまり、油フィルター、油受皿内に流入する場合があります。
水が混入していた場合は、25ページの **2** に従い、水を取りのぞいてください。

油受皿内に水が混入すると……

- 給油ランプの点滅が止まらない
- 着火ミスしたり、異常停止する（E02、E03）

油フィルターの点検・掃除をする

以下の手順に従い、点検・掃除を行ってください。

油フィルターに水やごみがたまっていると……

- 給油ランプの点滅が止まらない
- 着火ミスしたり、異常停止する（E02、E03）

1 カートリッジタンクを抜き、油フィルターを確認する

油フィルターに灯油を入れ、持ち上げる。

× 灯油が水滴のように落ちる。または、全く落ちない。
⇩
油フィルターが目づまりしています。
⇩
2 に従い、掃除してください。

○ 灯油が糸を引くように落ちる。（約10秒）
⇩
油フィルターは目づまりしていません。
⇩
正常です。

2 油フィルターはきれいな灯油ですすぎ洗いし、乾燥させる

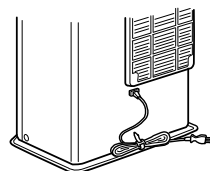
油フィルターはきれいな灯油ですすぎ洗いし、ごみなどを取りのぞき、布などで灯油を拭き取ったあと、日陰に置いてよく乾燥させてください。
油フィルターに水分が残っていると、灯油が落ちず、**給油ランプ**が点滅します。

洗浄後の灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。洗浄後の灯油を使用すると故障の原因となります。

日常の点検・手入れのしかた
点検・その他

保管のしかた（長期間使用しない場合）

次の手順に従ってファンヒーターを保管してください。

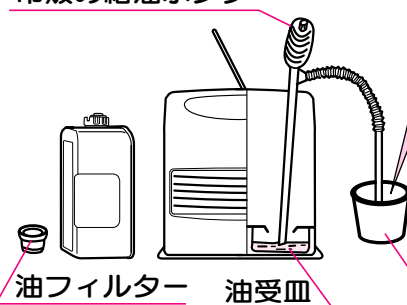
1 電源コードを束ねる

2 カートリッジタンク内と油受皿内の灯油をすべて抜く

油フィルターを取りのぞき、市販の給油ポンプなどで、油受皿内の灯油をすべて抜き取ってください。

○抜き取りが悪い

給油ポンプの先をカットし、抜き取りやすいようにしてください。

○灯油が抜けきらない

布などで油受皿内をよく拭いてください。

プラスチック製の容器を使用した場合は、長時間そのまま、放置しないでください。

メモ

○別売のスポイトを用意しています。スポイトをご使用されますと、市販の給油ポンプで抜けきらなかった灯油が抜き取りやすくなります。
スポイトの購入をご希望される場合は、お買い上げの販売店にご注文ください。

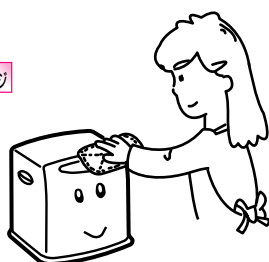
3 ファンフィルターと油フィルターの掃除をする

23ページ 24ページ

4 ファンヒーター本体の汚れを拭き取る

23ページ

5 ファンヒーターを箱に入れる

ファンヒーターは、湿気の少ない場所に保管してください。

お守りください

- ○ファンヒーターを傾けたり、横倒しにしないでください。
  油漏れなどにより、火災のおそれがあります。
- ○カートリッジタンク内と油受皿内の灯油は完全に抜き取ってください。
  灯油が残っていると変質し、故障の原因になります。
- ○灯油は翌シーズンに持ち越さず、使いきるようにしてください。

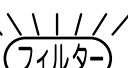
故障・異常の見分け方と処置方法

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に1度ご確認ください。

○ 着火時

症　　状	原　　　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約40秒必要です。(FW-5580LD,FW-6080LDは約45秒) ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 ２、３回着火動作を繰り返してください。
「ジー」、「カタン」と音がする	着火するための動作音です。 異常ではありません。
初めて使用するときや灯油がなくなり、再び着火するとき白煙が出る	灯油の気化ガスがバーナに充分回らないと、このような症状が出ることがありますが、異常ではありません。

○ 燃焼時・消火時

症　　状	原　　　因
初めて使用するとき煙やにおいが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。しばらくの間、部屋の換気をしながらご使用ください。１時間ほどでおさまります。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
バーナの網が赤くなる	青い炎の中に常に黄色い炎が現れなければ、異常ではありません。
室温を高めに設定しても室温が上がらない	部屋が広すぎる場合に起こります。
室温を低めに設定しても室温が下がらない	狭い部屋や断熱のよい部屋でご使用のとき、あるいは秋口や春先など外気温が比較的高いときに室温が設定温度より上がることがあります。あついと感じたときは運転を停止してください。
室内温度表示が部屋の寒暖計と一致しない	室温の表示は、室内平均温度のめやすです。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
運転中または消火直後に「ポコ」、「パキッ」などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
運転停止後、約6秒後に「カタン」と音がする	消火時の動作音です。 異常ではありません。

故障・異常の見分け方と処置方法

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現われたときは、適切な処置を行ってください。

表示部(エラー表示)	原　因(安全装置)	処　置　方　法
全消灯	一時停電した、または電源プラグが抜けかかっているため、自動消火した (停電安全装置が作動)	電源プラグを確実にコンセントに差し込み、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E01	地震(約震度5以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動消火した (対震自動消火装置が作動)	周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認した後、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E02 E03	着火ミスしたり、油フィルターや油受皿内に水やごみがたまったため、自動消火した (点火安全装置が作動) (燃焼制御装置が作動)	油受皿内の水やごみを取りのぞき、油フィルターは水分をよく乾燥させた後、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 24ページ
E07	室温が異常に高温(40℃以上)になったため、自動消火した (室温異常高温防止装置が作動)	設置方法を確かめ、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E09 フィルター フィルター	燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口が物でふさがれたり、ほこりがたまったため、自動消火した (過熱防止装置が作動)	○燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口の障害物を取りのぞき、掃除した後、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 ○処置を行っても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 29ページ
E13 換気	密閉した部屋で使用した場合、不完全燃焼(部屋の空気の異常状態)を防止するため、自動消火した (不完全燃焼防止装置が作動)	部屋の空気を入れ替えてから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 (使用中は必ず1時間に1～2回換気する)
運転延長ランプ 点灯 (19ページ参照)	燃焼を開始してから約3時間が経過したため、自動消火した (消し忘れ消火装置が作動)	**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
運転ランプ点滅 運転延長ランプ点滅 Err表示	**運転 入/切スイッチ**が押しつづけられたため、自動消火した	表示・操作部周辺の障害物を取りのぞき、コンセントを入れ直してから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
F00～F10	修理・点検が必要な故障です	表示内容を控えた後、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 29ページ

症　状	原　因	処　置　方　法
運転を開始しない	チャイルドロックがセットされている	チャイルドロックを解除する。 18ページ
給油ランプの点滅が止まらない	灯油がなくなった	給油する。 13ページ
	カートリッジタンクが変形している	○油フィルターに灯油がたまっているときは、油フィルターの点検・掃除をする。 24ページ ○油フィルターに灯油がたまっていないときは、カートリッジタンクを新しいものと交換する。 裏表紙
	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている	油フィルターの点検・掃除をする。 24ページ
火力が上がらない	給油ランプが点滅している	
	給油ランプが点滅している	給油する。 13ページ
	変質灯油・不純灯油を使用した 12ページ	○油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。 24ページ ○着火・消火を5回程度繰り返す。 (少しにおいがしますので、換気を十分に行ってください。)
異常燃焼を起こす 15ページ	変質灯油・不純灯油を使用した 12ページ	
	部屋の換気が不十分	換気を十分に行う。 2ページ
	ファンフィルターにほこりがたまった	ファンフィルターの掃除をする。 23ページ
においが強い	灯油がなくなった	給油する。 13ページ
	変質灯油・不純灯油を使用した 12ページ	油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。 24ページ
	灯油がこぼれたり、漏れている	使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 29ページ
油が漏れている	カートリッジタンクを入れたまま移動した	
	不純灯油を使用した 12ページ	

処置を行っても直らないとき、上記以外のエラー表示がでたとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 29ページ
故障したまま使用しつづけると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書（別添付）

販売店で必要事項を記入してお渡ししますので、記入内容をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げ日から本体3年間です。なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

12ページ

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ファンヒーターの補修用性能部品は、製造打切り後6年保有しています。

ご不明な点に関するご相談は

次のようなことでお困りのときは、アフターサービスご相談窓口にご相談ください。

裏表紙

- 使用方法がよくわからない
- お手入れ方法がよくわからない
- 異常時の対処方法がわからない
- ご転居等で近くに修理してくれるお店がわからない

修理を依頼するときは

○「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べください。 26ページ 27ページ 28ページ
○処置を行っても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。
その際は、次の事項をご連絡ください。

品　　　名：ダイニチブルーヒーター
型式の呼び：30ページ 仕様 に記載
お買い上げ日：保証書に記載
症　　　状：エラー表示など、できるだけ詳しく

●保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

お守りください

○**修理などでファンヒーターを移動する場合は、必ず油受皿内の灯油を抜いてください。灯油がこぼれると火災の原因になります。** 25ページ

部品交換について

部品交換が必要な際は、お買い上げの販売店、または（財）日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)、または技術講習会修了者（点検整備士）のいる販売店などにご依頼ください。

お守りください

○**ファンヒーターの修理・部品交換は、お客様個人では絶対に行わないでください。けがややけどのおそれがあります。**

定期点検のおすすめ

2シーズンに1回の定期点検をおすすめします。
長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。(有料)

愛情点検　長年ご使用のファンヒーターの点検を！

こんな症状はありませんか	▶	ご使用中止
・油漏れする ・強いにおいがする ・運転中、異常な音がする ・その他の異常や故障がある		故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

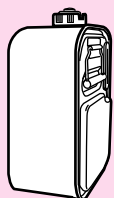
型式の呼び		FW-3680LD	FW-5580LD	FW-6080LD
種類		気化式・強制通気形・強制対流形		
点火方式		連続放電点火	ヒーター点火	
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)		
燃料消費量	最大	0.350 L/h	0.534 L/h	0.583 L/h
	最小	0.072 L/h	0.130 L/h	
暖房出力	最大	3.60 kW	5.50 kW	6.00 kW
	最小	0.74 kW	1.34 kW	
騒音（正面）	大火力	36 dB	40 dB	41 dB
	小火力	22 dB	27 dB	
油タンク容量		9.0 L		
燃焼継続時間	大火力	25.7 時間	16.8 時間	15.4 時間
	小火力	125.0 時間	69.1 時間	
標準適室	木造	16.5 m²(10畳)	23.0 m²(14畳)	26.5 m²(16畳)
	コンクリート	21.5 m²(13畳)	33.0 m²(20畳)	34.5 m²(21畳)
外形寸法 高さ×幅×奥行	置台込	445 mm×430 mm×357 mm	455 mm×527 mm×357 mm	
	本体	445 mm×387 mm×310 mm	455 mm×484 mm×310 mm	
質量		約11.9 kg	約14.0 kg	
電源電圧及び周波数		100V　50/60Hz		
定格消費電力	最大消費電力	390/390 W(点火初期に短時間発生)	420/420 W(点火初期に短時間発生)	
	燃焼時消費電力	132/132 W(大火力時)	193/193 W(大火力時)	204/204 W(大火力時)
		62/ 62 W(小火力時)	92/92 W(小火力時)	
安全装置		停電安全装置、対震自動消火装置、燃焼制御装置、点火安全装置 不完全燃焼防止装置、過熱防止装置、消し忘れ消火装置		
その他の装置		室温異常高温防止装置		

部品のご注文について

次の補修用性能部品を破損したり紛失したとき、別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
その際は型式名、部品名をはっきりとお伝えください。

別売部品

スポイト
￥165

補修用性能部品

カートリッジタンク
※(タンク)口金付
￥5,000

(タンク)口金
￥800

油フィルター
￥500

ファンフィルター
￥1,200
(FW-3680LDは￥1,000)

この価格は本ファンヒーター用です(税別)。
他の機種はこの限りではありません。
また、価格は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟県白根市大字北田中780-6
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

営業所	郵便番号	住所	電話
東京営業所	〒101-0021	千代田区外神田2-13-7 ダイニチ神田ビル	☎03(3258)3841㈹
大阪営業所	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-6-6	☎06(6330)1431㈹
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3-1-15	☎022(235)8621㈹
新潟営業所	〒950-1295	新潟県白根市大字北田中780-6	☎025(362)1140㈹
高崎営業所	〒370-0043	群馬県高崎市高関町345	☎027(328)0501㈹
宇都宮営業所	〒320-0838	宇都宮市吉野2-1-12	☎028(636)9411㈹
名古屋営業所	〒461-0028	名古屋市東区東大曽根町本通7-789-1 第一生命ビル	☎052(721)6677㈹
広島営業所	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-4-25	☎082(875)8851㈹
福岡営業所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町16-24 第六よしみビル	☎092(474)0731㈹

ご不明な点に関するご相談

- 使用方法がよくわからない
- お手入れ方法がよくわからない
- 異常時の対処方法がわからない
- ご転居等で近くに修理してくれるお店がわからない

アフターサービスご相談窓口(**通話料無料**)
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220

受付時間　(11月～ 1月)　9:00～19:00（土は～17:00まで、日・祝日・年末年始は休み）
　　　　　(2月～10月)　9:00～12:00、13:00～17:00　（土・日・祝日は休み）